

マスクなしの挨拶 (年取るといふこと日誌から)

CL教育研究会 遠間美保子
amhotm@gmail.com <https://docl.jp>



2020/05/04

以前公衆電話を借りてお世話になった認知症高齢者病院の窓辺に、普通の恰好をした患者さんらしき女性が二人並んで開けた窓から外を眺めている。病院の建物の周囲は広く、植木草花が植えられ、パーキング場も奥にあり、その周りを塀でぐるりと囲まれている。正面塀の前はゆるやかな坂道の道路で、下りながら女性たちに白手袋をした手を振ると、笑い声がして手を振り返してくれた。通り過ぎながら振り返って頭を下げると二人は部屋の中に消えた。全くのほんの一瞬の嬉しくもせつないコミュニケーション。

2020/06/01

忘れる

とみに増えてきたここ数年の身に覚えのない変化にいとまがない。

交通事故で両足を骨折して、以来一人で外出できなくなり、認知症にもなって数十分前のことは記憶に留まらない友人の家に、歩ける私が週末訪問している。持参するぬかみそ漬けやおいなりさんなどを笑顔いっぱい「おいしい」の連発で食べてくれる。それから彼女と元気な頃と同じようにおしゃべりと笑いで一時間があっという間に過ぎる。彼女は、事故前まで書道の先生でCL生徒さん。活動していた5年前までは、年に一、二度、立ち話程度しか話す機会を作らなかった。今は不思議なことにこの二人の時間は愛おしい。おいとまする時は彼女の「ありがとう」と笑顔に見送られる。

先々週末にそのお宅に訪問しておいとまして門の外に出たとき、周りのマスクマンたちを目にして、はずしたマスクをテーブルに置き忘れたのを思い出した。娘さんに捨ててもらおうようmailした。

ところが先週末には、忘れ物の確認をしながら、友人のせつない言葉に送られて門の外に出たら、頭が軽いと気づく。サンバイザーの大きな忘れ物をしたのだ。門の鍵は住人以外は開けられず、また娘さんにmailと相成った。忘れることが増える状況になってきて、「どんなときも次なすべきことに向かう」CL法則はさらに役立ってくれ有り難い。

2020/07/23

敷地の広い邸宅の雇人さんが塀の外側を竹ぼうきで掃いている。60代ほどの男性で、通りしな頭を下げられたようなので、「おはようございます」と頭を下げて挨拶すると、「おはようございます」と明るく返ってきた。コロナ前までは当たり前だったこのような光景が、コロナ騒ぎの昨今では、外を歩く人は皆マスクをしていて、飛沫用心で大きな声を控えているので、挨拶を交わすことが少なくなった。通り去る後ろから楽し気な口笛の済んだ音が聞こえた。マスクをしない、知らない同士の二人の心が通った一瞬のできごと。

2020/08/25

コロナウィルスが出回って、ウォーキングで出会う人々のほとんどはマスクをしている。通勤の人は全員。散歩やジョギングをする人はマスクをしない人もみかける。8月に入ってから猛暑でマスクは熱中症対策には不要だが、はずす人は少ない。


寺院本堂下の玉砂利で幼いお嬢ちゃんを座らせて遊ばせているパパと2mほど離れてお互いマスクなしの「おはよう」を交わし、幼子が両手をいっぱい振ってくれ、その愛らしさに若者と私は大きな笑顔になる。2日目はママもいっしょに挨拶した。3日目は姿が見当たらないとおもったら、別の場所でパパとお嬢ちゃんが座っていた。猛暑の朝6時前の寺院での出会いは、コロナと猛暑とマスクと遠方への外出がままならない状況を吹き飛ばし、老体に元気を与えてくれた。継続は力なり。

2020/09/06

超がつく大型台風が近づいているのと、昨今の激しい天気の様子で晴れに雨ふりが同時も珍しくない。曇り雨の予報で日よけなしで、玄関を出た途端雨が降ってきて、折り畳み傘を手にする。数分でやみ、その後は陽がさし、傘はいらず小さなポシェットに入れる。

数年前までは往復歩いていた道のりを今は目的地はそのまま、帰りは電車に乗る。ホームに立つまでは、マスクをせずウォーキングする。白手袋は日よけと人と挨拶したり、言葉を交わすときに役立つ。電車がホームに入ってきたので、白手袋をはずしてマスクを付け乍ら、ドアに乗り込むときに、ポシェットの折り畳み傘が線路に落ちてしまった。とっさにバックして電車のドアからホームに降りたのは以前の自分。素早い判断は鈍り体がついてこない。小学校高学年の男の子が落ちた傘に気づいて、「どうするの?」と問いかけるように私の顔を見る。1分ほどで次の駅に着いた。すぐに逆方向の各駅電車が止まり、先の駅に戻り、駅員さんに事情を話すと、すぐに長い鉄棒の先に半円の金具が付いた知恵の道具でホームにからさっと傘を取り上げてくれた。ホームの床に落として、わざわざ手に取って渡して下さった。その早わざに落とし物をするやからが多いと知る。2分ほど待って電車に乗り、帰宅の途に着いた。

私の失敗を知った人はたったの3人だが、5分ほどの間に駅員さん、運転手さんたち、線路や時刻表と作っていただいた人たちにお世話になったことか。もし傘が線路内に落ちて電車の運転に支障をきたしたりしたら。どれほどたくさんの人にご迷惑をかけることになったか。どんな失敗も次なすべきことをするのは年をとっても身につけているが、内観の事実もしっかり知って指を折りながら心でありがとうを言った。(千葉県市川市CLインストラクター)

 [目次へ戻る](#)